

## 第33回（令和2年度）介護福祉士国家試験 筆記試験午後の問題

### <領域：こころとからだのしくみ>

#### 発達と老化の理解

問題69 Aさん（小学4年生、男性）は、思いやりがあり友人も多い。図画工作や音楽が得意で落ち着いて熱心に取り組むが、苦手な科目がある。特に国語の授業のノートを見ると、黒板を書き写そうとしているが、文字の大きさもふぞろいで、一部の漢字で左右が入れ替わっているなどの誤りが多く見られ、途中で諦めた様子である。親子関係や家庭生活、身体機能、就学时健康診断などには問題がない。Aさんに当てはまる状態として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 自閉症スペクトラム障害（autism spectrum disorder）
- 2 愛着障害
- 3 注意欠陥多動性障害
- 4 学習障害
- 5 知的障害

問題70 医療や福祉の法律での年齢に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 35歳の方は、老人福祉施設に入所できる。
- 2 50歳の方は、介護保険の第一号被保険者である。
- 3 60歳の方は、医療保険の前期高齢者である。
- 4 70歳の方は、介護保険の第二号被保険者である。
- 5 75歳の方は、後期高齢者医療の被保険者である。

問題71 高齢期の喪失体験と悲嘆に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 喪失体験とは、加齢に伴う身体機能の低下のことである。
- 2 悲嘆過程とは、病的な心のプロセスのことである。
- 3 死別後の悲嘆からの回復には、喪失に対する心理的対処だけでなく生活の立て直しへの対処も必要である。
- 4 ボウルビィ（Bowlby, J.）によれば、悲嘆過程には順序性はない。
- 5 身近な人との死別後に生じる病的悲嘆への支援では、亡くなった人への愛着をほかに向けることを目標にする。

問題72 加齢による味覚の変化に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 味蕾 {みらい} の数に年齢による違いはない。
- 2 服用する薬剤で味覚が変化することはない。
- 3 唾液が増加して味覚が敏感になる。
- 4 濃い味を好むようになる。

5 口腔 {こうくう} ケアは関係ない。

問題73 意欲が低下した高齢者の動機づけに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 高い目標を他者が掲げると、動機づけが強まる。
- 2 本人が具体的に何をすべきかがわかると、動機づけが強まる。
- 3 本人にとって興味がある目標を掲げると、動機づけが弱まる。
- 4 小さな目標の達成を積み重ねていくと、動機づけが弱まる。
- 5 本人が自分にもできそうだと思う目標を掲げると、動機づけが弱まる。

問題74 高齢者の便秘に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 大腸がん (colorectal cancer) は、器質性便秘の原因になる。
- 2 弛緩性便秘 {しかんせいべんぴ} はまれである。
- 3 けいれん性便秘では、大きく柔らかい便がでる。
- 4 直腸性便秘は、便が直腸に送られてこないために起こる。
- 5 薬剤で、便秘になることはまれである。

問題75 高齢者の転倒に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 介護が必要になる原因は、転倒による骨折 (fracture) が最も多い。
- 2 服用する薬剤と転倒は、関連がある。
- 3 転倒による骨折 (fracture) の部位は、足首が最も多い。
- 4 転倒の場所は、屋内では浴室が最も多い。
- 5 過去に転倒したことがあると、再度の転倒の危険性は低くなる。

問題76 高齢者の糖尿病 (diabetes mellitus) に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 アミラーゼ (amylase) の作用不足が原因である。
- 2 ヘモグロビンA1c (HbA1c) の目標値は、若年者に比べて低めが推奨される。
- 3 若年者に比べて高血糖の持続による口渇感が強い。
- 4 運動療法は避けたほうがよい。
- 5 若年者に比べて低血糖の自覚症状に乏しい。

## 認知症の理解

問題77 うつ病 (depression) による仮性認知症 (pseudodementia) と比べて認知症 (dementia) に特徴的な事柄として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 判断障害がみられることが多い。
- 2 不眠を訴えることが多い。

- 3 誇張して訴えることが多い。
- 4 希死念慮がみられることが多い。
- 5 抗うつ薬が効果的であることが多い。

問題78 日本における認知症 (dementia) の原因のうち、アルツハイマー型認知症 (dementia of the Alzheimer's type) の次に多い疾患として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 血管性認知症 (vascular dementia)
- 2 前頭側頭型認知症 (frontotemporal dementia)
- 3 混合型認知症 (mixed type dementia)
- 4 レビー小体型認知症 (dementia with Lewy bodies)
- 5 アルコール性認知症 (alcoholic dementia)

問題79 日本での認知症 (dementia) に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 アルツハイマー型認知症 (dementia of the Alzheimer's type) 以外の認知症 (dementia) の患者数が増加している。
- 2 アルツハイマー型認知症 (dementia of the Alzheimer's type) の有病率は、男性より女性が高い。
- 3 年齢が若いほど、認知症発症のリスクが高い。
- 4 生活習慣病 (life-style related disease) と認知症発症には関連がない。
- 5 運動は認知症予防に無効である。

問題80 認知症初期集中支援チームに関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 認知症 (dementia) の人は病院への入院や施設への入所をするべきであるという考えに基づいている。
- 2 既に認知症 (dementia) の診断を受けている人への支援は含まれない。
- 3 家族への支援は含まれない。
- 4 支援期間は2~3年である。
- 5 チーム員会議を開催してケア方針を決定する。

問題81 クロイツフェルト・ヤコブ病 (Creutzfeldt-Jakob disease) に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 有病率は1万人に1人である。
- 2 プリオン病である。
- 3 認知症 (dementia) の症状は緩やかに進行するが多い。
- 4 致死率は低い。
- 5 不随意運動は伴わない。

問題82 レビー小体型認知症 (dementia with Lewy bodies) に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 脳梗塞（cerebral infarction）が原因である。
- 2 初発症状は記憶障害である。
- 3 けいれんがみられる。
- 4 人格変化がみられる。
- 5 誤嚥性肺炎【ごえんせいはいえん】（aspiration pneumonia）の合併が多い。

問題83 Bさん（80歳、女性、要介護2）は、1年前にアルツハイマー型認知症（dementia of the Alzheimer's type）の診断を受け、服薬を継続している。同居の息子は日中不在のため、週に3回、訪問介護（ホームヘルプサービス）を利用し、訪問介護員（ホームヘルパー）と共に活発に会話や家事をしていた。不眠を強く訴えることが増えたため、1週間前に病院を受診したときに息子が主治医に相談した。その後、午前中うとうとしていることが多くなり、飲水時にむせることがあった。歩くとき、ふらつくようになったが、麻痺【まひ】はみられない。バイタルサイン（vital signs）に変化はなく、食欲・水分摂取量も保たれている。

訪問介護員（ホームヘルパー）のBさんと息子への言葉かけとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「日中は横になって過ごしたほうがよいでしょう」
- 2 「歩行機能を保つためにリハビリを始めませんか」
- 3 「嚥下障害【えんげしょがい】が起きてますね」
- 4 「処方薬が変更されていませんか」
- 5 「認知症（dementia）が進行したのでしょうか」

問題84 認知症（dementia）の原因疾患を鑑別するときに、慢性硬膜下血腫（chronic subdural hematoma）の診断に有用な検査として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 血液検査
- 2 脳血流検査
- 3 頭部CT検査
- 4 脳波検査
- 5 認知機能検査

問題85 認知症（dementia）に伴う注意障害に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 周囲から物音が聞こえてくると、食事を中断したままになる。
- 2 毎日、同じ時間に同じ行動をする。
- 3 旅行の計画を立てることが難しい。
- 4 話そうとすることを言い間違える。
- 5 介護職員から説明を受けたことを覚えていない。

問題86 Cさん（87歳、男性、要介護5）は、重度のアルツハイマー型認知症（dementia of the Alzheimer's type）である。現在、介護老人福祉施設に入所しているが終末期の状態にある。できる限り経口摂取を続けてきたが、誤嚥性肺炎【ごえんせいはいえん】（aspiration pneumonia）を繰り返し、経口摂取が困難となった。臥床状態【がしょうじょうたい】が続き、声かけに対する反応も少なくなっている。医師から、「死が極めて近い状態である」と伝えられた。

施設で看取【みと】ることになっているCさんへの介護福祉職の対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 離床している時間をつくる。
- 2 会話によって本人の希望を聞く。
- 3 事前指示書を作成する。
- 4 苦痛があるかないか、状態を観察する。
- 5 本人の好きな食事を用意する。

## 障害の理解

問題87 ICF（International Classification of Functioning, Disability and Health：国際生活機能分類）の社会モデルに基づく障害のとらえ方に関する記述として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 個人の問題としてとらえる。
- 2 病気・外傷から直接的に生じる。
- 3 さまざまな環境との相互作用によって生じる。
- 4 治療してできるだけ回復させることを目的とする。
- 5 医療などによる援助を必要とする。

問題88 リハビリテーションに関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 語源は、「再び適したものにすること」である。
- 2 ニーリエ（Nirje, B.）によって定義された。
- 3 医療の領域に限定されている。
- 4 自立生活運動とは関係がない。
- 5 機能回復訓練は社会的リハビリテーションである。

問題89 「Nothing about us without us（私たち抜きに私たちのことを決めるな）」の考え方のもとに、障害者が作成の段階から関わり、その意見が反映されて成立したものとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 優生保護法
- 2 国際障害者年
- 3 知的障害者福祉法
- 4 身体障害者福祉法

## 5 障害者の権利に関する条約

問題90 Dさん（31歳、男性）は、脊髄損傷（spinal cord injury）による対麻痺【ついまひ】で、リハビリテーションのため入院中である。車いすでの日常生活動作（Activities of Daily Living：ADL）は自立したが、退院後自宅で生活するときに、褥瘡【じょくそう】が生じないか心配している。

Dさんの褥瘡【じょくそう】が発生しやすい部位として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 頭部
- 2 上腕部
- 3 背部
- 4 腹部
- 5 坐骨結節部【ざこつけっせいぶ】

問題91 脊髄の完全損傷で、プッシュアップが可能となる最上位のレベルとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 頸髄【けいずい】（C1～C3）
- 2 頸髄【けいずい】（C7）
- 3 胸髄
- 4 腰髄
- 5 仙髄

問題92 筋ジストロフィー（muscular dystrophy）の病態について、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 網膜が変性する。
- 2 運動神経が変性する。
- 3 自己免疫が原因である。
- 4 中脳の黒質が病変部位となる。
- 5 筋線維に変性が生じる。

問題93 「障害者虐待防止法」の心理的虐待に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 身体に外傷が生じるおそれのある暴行を加えること。
- 2 わいせつな行為をすること。
- 3 著しい暴言、または著しく拒絶的な対応を行うこと。
- 4 衰弱させるような著しい減食、または長時間の放置を行うこと。
- 5 財産を不当に処分すること。

（注） 「障害者虐待防止法」とは、「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」のことである。

問題94 心臓機能障害のある人に関する記述として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 塩分の制限は必要としない。

- 2 呼吸困難や息切れなどの症状がみられることが多い。
- 3 日常生活で外出を避けるべきである。
- 4 ペースメーカーの装着者は、身体障害者手帳の交付対象から除外される。
- 5 精神的なストレスの影響は少ない。

問題95 発達障害のEさん（5歳、男性）の母親（28歳）は、Eさんのことを一生懸命に理解しようと頑張っている。しかし、うまくいかないことも多く、子育てに自信をなくし、どうしたらよいのかわからずに一人で悩んでいる様子が見られる。

母親への支援に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 現状を受け入れるように説得する。
- 2 一時的な息抜きのために、レスパイトケアを紹介する。
- 3 同じ立場にあるペアレント・メンターを紹介する。
- 4 Eさんへの発達支援を強化するように勧める。
- 5 介護支援専門員（ケアマネジャー）を紹介する。

問題96 「2016年（平成28年）生活のしづらさなどに関する調査（全国在宅障害児・者等実態調査）」（厚生労働省）における身体障害者手帳所持者の日常的な情報入手手段として、最も割合が高いものを1つ選びなさい。

- 1 家族・友人・介助者
- 2 パソコン
- 3 携帯電話
- 4 テレビ
- 5 ラジオ

## こころとからだのしくみ

問題97 心的外傷後ストレス障害（posttraumatic stress disorder：PTSD）に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 原因となった体験が繰り返し思い起こされる。
- 2 1か月以内で症状は治まる。
- 3 小さな出来事が原因となる。
- 4 被害妄想を生じる。
- 5 気分が高ぶる。

問題98 健康な人の体温に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 高齢者の体温は小児より高い。
- 2 早朝の体温が最も高い。
- 3 腋窩温 {えきかおん} は口腔温 {こうくうおん} より高い。

- 4 体温調節中枢は視床下部にある。
- 5 環境の影響を受けない。

問題99 義歯を使用したときの影響として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 唾液分泌量が増加する。
- 2 話す言葉が明瞭になる。
- 3 舌の動きが悪くなる。
- 4 口のまわりのしわが増える。
- 5 味覚が低下する。

問題100 1週間の安静臥床〔あんせいがしょう〕で筋力は何%程度低下するか、次のうちから最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 1%
- 2 5%
- 3 15%
- 4 30%
- 5 50%

問題101 栄養素の働きに関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 たんぱく質は、最大のエネルギー源となる。
- 2 ビタミンD (vitamin D) は、糖質をエネルギーに変える。
- 3 カリウム (K) は、骨の形成に関わる。
- 4 ビタミンB1 (vitamin B1) は、カルシウム (Ca) の吸収に関わる。
- 5 ナトリウム (Na) は、血圧の調節に関わる。

問題102 Fさん(80歳、女性)は、普段の食事は自立している。日常生活では眼鏡がないと不自由である。ある日、いつもより食事に時間がかかっていた。介護福祉職が確認したところ、Fさんは、「眼鏡が壊れて使えなくなってしまった」と答えた。

食事をとるプロセスで、Fさんが最も影響を受ける段階として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 先行期
- 2 準備期
- 3 口腔期〔こうくうき〕
- 4 咽頭期
- 5 食道期

問題103 入浴(中温浴、38~41℃)の効果に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 脳が興奮する。

- 2 筋肉が収縮する。
- 3 血圧が上昇する。
- 4 腎臓の働きを促進する。
- 5 腸の動きを抑制する。

問題104 Gさん（83歳、女性）は、認知機能は正常で、日常生活は杖歩行【つえほこう】で自立し外出もしていた。最近、外出が減ったため理由を尋ねたところ、咳【せき】やくしゃみで尿が漏れることが多いため外出を控えていると言った。

Gさんの尿失禁として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 機能性尿失禁
- 2 腹圧性尿失禁
- 3 溢流性尿失禁【いつりゅうせいにようしっきん】
- 4 反射性尿失禁
- 5 切迫性尿失禁

問題105 次のうち、便秘の原因として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 炎症性腸疾患（inflammatory bowel disease）
- 2 経管栄養
- 3 消化管切除
- 4 感染性腸炎（infectious enteritis）
- 5 長期臥床【ちょうきがしょう】

問題106 高齢者の睡眠の特徴に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 熟睡感が増加する。
- 2 深睡眠が増加する。
- 3 夜間の睡眠時間が増加する。
- 4 睡眠周期が不規則になる。
- 5 入眠までの時間が短縮する。

問題107 睡眠に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 レム睡眠のときに夢を見る。
- 2 レム睡眠から入眠は始まる。
- 3 ノンレム睡眠では筋緊張が消失する。
- 4 ノンレム睡眠では速い眼球運動がみられる。
- 5 高齢者ではレム睡眠の時間が増加する。

問題108 死斑【しはん】が出現し始める時間として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 死後5分以内

- 2 死後20～30分
- 3 死後3時間
- 4 死後8～12時間
- 5 死後48時間

## <領域：医療的ケア>

### 医療的ケア

問題109 介護福祉職が経管栄養を実施するときに、注入量を指示する者として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 医師
- 2 看護師
- 3 訪問看護事業所の管理者
- 4 訪問介護事業所の管理者
- 5 介護支援専門員（ケアマネジャー）

問題110 気管粘膜のせん毛運動に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 痰【たん】の粘度が高いほうが動きがよい。
- 2 空気中の異物をとらえる運動である。
- 3 反射的に咳【せき】を誘発する。
- 4 気管内部が乾燥しているほうが動きがよい。
- 5 痰【たん】を口腔【こうくう】の方へ移動させる。

問題111 介護福祉職が実施する喀痰吸引【かくたんきゅういん】で、口腔内【こうくうない】と気管カニューレ内部の吸引に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 気管カニューレ内部の吸引では、カニューレの内径の3分の2程度の太さの吸引チューブを使用する。
- 2 気管カニューレ内部の吸引では、滅菌された洗浄水を使用する。
- 3 気管カニューレ内部の吸引では、頸部【けいぶ】を前屈した姿勢にして行う。
- 4 吸引時間は、口腔内【こうくうない】より気管カニューレ内部のほうを長くする。
- 5 吸引圧は、口腔内【こうくうない】より気管カニューレ内部のほうを高くする。

問題112 Hさん（80歳、男性）は嚥下機能【えんげきのう】の低下があり、胃ろうを1か月前に造設して、自宅に退院した。現在、胃ろう周囲の皮膚のトラブルはなく、1日3回の経管栄養は妻と介護福祉職が分担して行っている。経管栄養を始めてから下肢の筋力が低下して、妻の介助を受けながらトイレへは歩いて行っている。最近、「便が硬くて出にくい」との訴えがある。

Hさんに対して介護福祉職が行う日常生活支援に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 入浴時は、胃ろう部を湯につけないように注意する。
- 2 排泄時【はいせつじ】は、胃ろう部を圧迫するように促す。
- 3 排便は、ベッド上で行うように勧める。
- 4 経管栄養を行っていないときの歩行運動を勧める。
- 5 栄養剤の注入量を増やすように促す。

問題113 経管栄養の実施に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 経管栄養の準備は、石鹸【せっけん】と流水で丁寧に手を洗ってから行う。
- 2 栄養剤は、消費期限の新しいものから使用する。
- 3 胃ろうや腸ろう周囲の皮膚は、注入開始前にアルコール消毒を行う。
- 4 カテーテルチップシリンジは、1回使用したら廃棄する。
- 5 口腔【こうくう】ケアは、数日に1回行う。

## <総合問題>

### 総合問題

#### (総合問題1)

次の事例を読んで、問題114から問題116までについて答えなさい。

〔事例〕

Jさん（83歳、女性）は一人暮らしである。人と付き合うのが苦手で、近所付き合いもあまりなく、一人で静かに生活していた。

80歳を過ぎた頃から右膝に痛みが出て、変形性膝関節症【へんけいせいしつかんせつしょう】（knee osteoarthritis）と診断されたが、近くのスーパーへの買物や、近所の散歩には出かけていた。

1か月ほど前から膝の痛みが悪化し、散歩にも行かなくなった。食事量が減って痩せてきてしまい、一日中、座ってテレビを見て過ごしている。

問題114 現在のJさんに心配される病態として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 フレイル（frailty）
- 2 不定愁訴
- 3 寛解
- 4 不穏
- 5 せん妄（delirium）

問題115 Jさんは、食事量は回復したが、膝に痛みがあり、家の中ではつかまり歩きをしていた。要介護認定を受けたところ要支援2と判定され、家の近くの第一号通所事業（通所型サービス）を利用することになった。

通所初日、車で迎えに行くと、Jさんは、「心配だからやっぱり行くのはやめようかしら」と介護福祉

職に言い、玄関の前からなかなか動かなかった。

このときの介護福祉職の言葉かけとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「急ぎましょう。すぐに車に乗ってください」
- 2 「心配なようですから、お休みにしましょう」
- 3 「歩けないようでしたら、車いすを用意しましょうか」
- 4 「初めてだから心配ですね。私もそばにいますので一緒に行きませんか」
- 5 「Jさんが行かないと、皆さん困ってしまいますよ」

問題116 その後、Jさんは少しずつ回復し、膝の痛みもなく、家の中では何もつかまらずに歩くことができている。一人で散歩に出ようという意欲も出てきた。

Jさんは、介護福祉職にもっと安定して歩けるように練習をしていきたいことや、外出するときは膝の負担を減らすために杖〔つえ〕を使用したいと思っていることを話した。

Jさんに合った、杖〔つえ〕を使った歩き方として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 杖〔つえ〕（左手で持つ）を出す→右足を出す→左足を出す
- 2 杖〔つえ〕（右手で持つ）を出す→左足を出す→右足を出す
- 3 杖〔つえ〕（左手で持つ）と右足を出す→左足を出す
- 4 杖〔つえ〕（右手で持つ）と左足を出す→右足を出す
- 5 杖〔つえ〕（左手で持つ）と左足を出す→右足を出す

## （総合問題2）

次の事例を読んで、問題117から問題119までについて答えなさい。

〔事例〕

Kさん（80歳、女性）は夫が亡くなった後、自宅で一人暮らしをしていた。ある日、一人娘のLさんが訪ねると、ごみが散乱しており、冷蔵庫の中には古くなった食材がたくさん入っていた。

変化に驚いたLさんはKさんと病院を受診したところ、認知症（dementia）と診断された。Lさんは、Kさんに家庭的な雰囲気の中で生活をしてほしいと考えた。その結果、Kさんは認知症対応型共同生活介護（グループホーム）を利用することになった。

入居して1週間が経過し、Kさんと関わったM介護福祉職は、Kさんは短期記憶の低下により、最近の出来事については話すことは難しいが、自分が学校に通っていた頃の話や、子どもの頃に歌っていた歌については生き生きと話すことを確認した。

問題117 M介護福祉職は、Kさんが今持っている認知能力を活用して、ほかの利用者と交流する機会を作りたいと考え、Kさんとほかの利用者に参加してもらう活動を企画することにした。

M介護福祉職が企画した活動の手法として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 リアリティ・オリエンテーション（reality orientation）
- 2 ピアカウンセリング（peer counseling）
- 3 スーパービジョン（supervision）

- 4 回想法
- 5 社会生活技能訓練

問題118 ある日、M介護福祉職がKさんの入浴介護を行っていたところ、手のひらや指の間に赤い丘疹〔きゅうしん〕を確認した。M介護福祉職がKさんに、「かゆくないですか」と聞くと、「かゆい」と答えた。そのため、病院を受診したところ、角化型疥癬〔かくかがたかいせん〕（hyperkeratotic scabies）と診断された。

Kさんへの介護福祉職の対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 入浴後の洗濯物は、ビニール袋に入れて運ぶ。
- 2 マスクを着けてもらう。
- 3 個室に隔離する必要はない。
- 4 介護は素手で行う。
- 5 ほかの利用者よりも先に入浴してもらう。

問題119 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）を利用するKさんの要介護度に変更があった場合に影響があるものとして、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 介護保険料
- 2 認知症対応型共同生活介護費
- 3 介護サービスの利用者負担割合
- 4 食費
- 5 居住費

### （総合問題3）

次の事例を読んで、問題120から問題122までについて答えなさい。

〔事例〕

Aさん（10歳、男性）は、自閉症スペクトラム障害（autism spectrum disorder）であり、多動で発語は少ない。毎日のように道路に飛び出してしまったり、高い所に登ったりするなど、危険の判断ができない。また、感情の起伏が激しく、パニックになると止めても壁に頭を打ちつけ、気持ちが高ぶると騒ぎ出す。お金の使い方がわからないため好きなものをたくさん買おうとする。

現在は、特別支援学校に通っており、普段の介護は母親が一人で担っている。

問題120 Aさんのこのような状態に該当するものとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 注意障害
- 2 遂行機能障害
- 3 強度行動障害
- 4 記憶障害
- 5 気分障害

問題121 Aさんの将来を考え、家族以外の支援者と行動できるようにすることを目標に障害福祉サービスを利用することになった。介護福祉職と一緒に散歩に行き、外出時のルールを覚えたり、移動中の危険回避などの支援を受けている。

Aさんが利用しているサービスとして、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 同行援護
- 2 自立生活援助
- 3 自立訓練
- 4 生活介護
- 5 行動援護

問題122 Aさんのサービス利用開始から6か月が経ち、支援の見直しをすることになった。Aさんの現状は、散歩では周囲を気にせず走り出すなど、まだ危険認知ができていない。介護福祉職はルールを守ることや周りに注意するように声かけをするが、注意されるとイライラし、パニックになることがある。

一方で、スーパーではお菓子のパッケージを見て、硬貨を出し、長時間その場から動こうとしない。介護福祉職は、Aさんがお菓子とお金に注目している様子から、その力を引き出す支援を特別支援学校に提案した。

介護福祉職が特別支援学校に提案した支援の背景となる考え方として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 エンパワメント (empowerment)
- 2 アドボカシー (advocacy)
- 3 ピアサポート (peer support)
- 4 ノーマライゼーション (normalization)
- 5 インクルージョン (inclusion)

#### (総合問題4)

次の事例を読んで、問題123から問題125までについて答えなさい。

〔事例〕

Bさん(45歳、女性)はアパートで一人暮らしをしていた。家族や親戚との付き合いはなかったが、趣味も多く、充実した生活を送っていた。

ある日、車で買物に行く途中、交通事故を起こし、U病院に救急搬送され手術を受けた。

手術の数日後、医師から、頸髄損傷【けいずいそんしょう】(cervical cord injury)があり、第【だい】5頸髄節【けいずいせつ】まで機能残存するための手術をしたこと、今後の治療方針、リハビリテーションによって今後の生活がどこまで可能になるかについて、丁寧に説明を受けた。

問題123 Bさんの今後の生活に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 自力歩行ができる。

- 2 自走式標準型車いすを自分で操作して、一人で外出することができる。
- 3 自発呼吸が困難になり、人工呼吸器が必要な生活になる。
- 4 電動車いすを自分で操作することが可能になる。
- 5 指を使った細かい作業が可能になる。

問題124 Bさんは、入院当初は落ち込んでいたが、徐々に表情が明るくなり、U病院でのリハビリテーションにも積極的に取り組むようになった。現在はVリハビリテーション病院に転院して、退院後の生活に向けて身体障害者手帳を取得し、準備を進めている。Bさんは、以前のようなアパートでの一人暮らしはすぐには難しいと考え、障害者支援施設への入所を考えている。

障害者支援施設に入所するために、Bさんがこの時期に行う手続きとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 居宅サービス計画を作成するために、介護支援専門員（ケアマネジャー）に相談する。
- 2 要介護認定を受けるために、市町村の窓口申請する。
- 3 施設サービス計画を作成するために、介護支援専門員（ケアマネジャー）に相談する。
- 4 サービス等利用計画を作成するために、相談支援専門員に相談する。
- 5 障害支援区分の認定を受けるために、市町村の窓口申請する。

問題125 その後、Bさんは希望どおり障害者支援施設に入所した。入所した施設では、C介護福祉職がBさんの担当になった。C介護福祉職は、Bさんから、「日常生活で、もっと自分でできることを増やし、いずれは地域で生活したい」と言われた。そこでC介護福祉職は、施設内の他職種と連携して支援を行う必要があると考えた。

C介護福祉職が連携する他職種とその業務内容に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 工作などの作業を行いながら身体機能の回復を図るために、看護師と連携する。
- 2 運動機能の維持・改善を図るために、理学療法士と連携する。
- 3 趣味活動を増やすことを目的に、管理栄養士と連携する。
- 4 活用できる地域のインフォーマルサービスを検討するために、義肢装具士と連携する。
- 5 栄養状態の面から健康増進を図るために、社会福祉士と連携する。

[「第33回音声読み上げ用筆記試験問題一覧」のページに戻る](#)